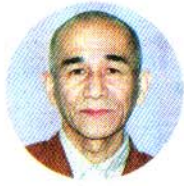


笠間出身の陶芸家・柴田さん

出会いの喜び 詩画集を出版

2冊目 体験談や人生訓つづる

笠間市出身の陶芸家で僧侶、柴田宋休さん(五〇)栃木県益子町在住が二冊目の詩画集『であえてよかった』を出版した。柴田さんは「自分自身もどんだ底を体験した中で、いろいろな人との出会いがあり、一冊の本になった。真実を読んで共感してくれればうれしい」と話している。



柴田宋休さん

柴田さんは同市の陶芸家で人間国宝の故松井康成さんに師事。陶芸の道を歩む傍ら、益子に移住し、近年は詩画の制作にも励んでいる。

柴田宋休さんの詩画集『であえてよかった』

自らの体験や生き方への思いを表現。「つらく苦しい時を体験したが、心が決まると物事が動き、すべてがチャンスになる。新しい出会いや縁も変わり、人の広がりにつながる。新しい出会いや縁も変わり、人の広がりにつながる」と振り返る。

収録された作品は八十編。「百回の練習より一回の真剣勝負」「どんなときでもいつもここにこ」「ほんものにはパワーがある」などの人生訓も多く含まれている。

今回の詩画集は二〇〇〇年五月に発行された第一作『あるがままに』に続く二冊目で、柴田さんのファンだといつづけば

市の高柳宗三さんが出版に協力。支援した笠間のギャラリー「陶芸館」の宇賀恵子さんは「年代を問わず、読んで、少しでも救われる人がいれば」と話している。

『であえてよかった』はA5判横サイズ、八十二ページ、1050円。水戸市の川又書店などで販売。問い合わせは柴田さん ☎02865(72)5826、<http://soukyu.e-ksplan.jp/>

軽快なダンスを多くの市民らが楽しんだフェスティバル＝日立新都市広場



発行所

茨城新聞社

〒310-8686
水戸市北見町2番15号
電話(029)221-3121(代)
©茨城新聞社2005

茨城新聞

2005年(平成17年)

5月2日 月曜日

第19面記事